

展示のご案内

～8月30日(日)まで

児童書

「読書ですずもう☆～夏のおすすめ本～」

海のいきものや、こわい本など暑い夏を涼しくしてくれるような本が集合!

一般書

「☆おうちをステキにチェンジ☆」

庭作りやインテリア小物作りの本を集めました

豆知識

夏バテ防止の食材でクエン酸を多く含むレモンやゆずには汗のニオイを減らす効果があるといわれています

お知らせ

① 雑誌「CHANTO」が休刊となり、新しく「サンキュ!」が入りました

② 児童閲覧室に「どこどこセブン」や「ミッケ」などあそびの本を集めた棚を設置しました

③ CDコーナーをクラシック、邦楽、洋楽、行事音楽など、ジャンルごとにわけました

④ 毎年、夏に開催しているユメまつりは10月に延期となりました

《直方市立図書館カレンダー》



7がつ

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	



8がつ

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

■はお休み、**太字**は17時閉館

7月のイベントは中止となりました。

8月のイベントは決まり次第、図書館HPや館内掲示でお知らせします。



図書館HP



Facebook



直方市立

図書館
NOGATA CITY LIBRARY

直方市山部 301-11 TEL:0949-25-2240 FAX:0949-23-3902

【開館時間】火～土 10時～19時 / 日・祝 10時～17時



7月号のテーマ **驚愕**



毎月、司書がひとつのテーマにそって本を紹介します。
※()は司書のペンネームです。

『どこいったん』 ジョン・クラッセン:著/E933 ク

「ぼくのぼうし どこいったん？」

だいじな赤い帽子を探しているクマは、いろいろな仲間たちに尋ねてまわります。さて赤い帽子の行方とは？
絵本とは思えないようなラストにあなたは驚愕するはず・・・。

全文が関西弁で繰り広げられる、ちょっぴりダークでドキリとする1冊です。

同作者の「みつくてん」「ちがうねん」もオススメ。 (ロア)

『濱地健三郎の幽(かくれ)たる事件簿』 有栖川有栖:著/Fア

年齢不詳で紳士の探偵・濱地健三郎には、鋭い推理力だけでなく、幽霊を視ることができる。視たモノの特徴を描きとめる特技を持つ、助手の志摩ユリエと共に、新幹線の車窓からいつも見えるホームにたたずむ少年や、郊外で猫と2人暮らしをしている姉の失踪の謎と弟が見た不思議な現象など、驚愕の事実と謎に満ちた7編を収録されています。 (Bro.)

『ある奴隷少女に起こった出来事』 ハリエット・アン・ジェイコブズ:著/289.3 シ

奴隷制度下のアメリカ南部。アフリカ系アメリカ人のリンダことハリエットは、6歳の時に自分がある医師家庭の奴隷であることを知る。聡明な少女に成長したハリエットは、35歳年上の医師に性的興味を抱かれ苦悩した末、驚くべき決断を下す。1861年の出版から120年近く、白人著者によるフィクションと見なされていた本書。歴史学者により事実に基づく自伝と発見され、古典名作ベストセラーとして広く読まれている。 (tm)

『54字の物語 怪』 氏田雄介:著/YFウ

ショートノベルスが人気ですが、こちらはなんと1話が54字という驚愕の短さ。

しかも90話すべてが、ちょうど54字！こんなものをどうやってつくるんだろうと気になりますが、最後につくり方のコツが載っています。

ちょっぴり笑えて、ほんのり怖い夏にぴったりの物語。ぜひ読んでつくってみては！？ (ペコ)

『ベルリンの壁の物語(上・下)』 クリストファー・ヒルトン:著/234ヒ

1989年11月9日のことだった。

東西ドイツ分断の象徴であった「ベルリンの壁」が突如として崩壊した。ドイツの統一という歴史的な意味だけでなく、文字通り物理的に破壊されていく映像を目にして世界中が驚愕した。(と思っていた。)しかし、この本を読むと必ずしもそうではなかったことがわかる。壁の崩壊には、助走期間があったことがわかる。是非、手にとってみてください。 (キャラメル)

『サナギのひみつ』 三輪一男:著/K486ミ

どうやって芋虫が蝶になるのか。そこには昆虫の、驚愕的な進化の歴史がある。

サナギの中で虫は体を液体にし、成虫の体を作り上げるのだ！ いつの時代でも食べられる側だった虫の先祖たちは、生き残りをかけて変化してきた。

知ることで、ただの虫や草が、「命」だとわかる。質の高い児童向けの科学読み物は大人もわくわくする。この夏、親子でぜひ読んでください。 (Bee)